



2025(令和7)年度 総合型選抜（探究プレゼンテーション方式）の概要について

総合型選抜（探究プレゼンテーション方式）は、高等学校新指導要領で導入された「総合的な探究の時間」での探究活動はじめ、課外活動や個人的に行った探究活動などで行った、活動の成果を評価し、審査する入試です。

本学では、とくに「自分の意見や価値観を持ち、自分の言葉で発言して周囲の理解を得る力を身につけた人」を主な対象とし、審査では、どのような方法で「探究」を行ったか、「探究」の結果をどのように自分の言葉で発信することができるかという点に重点を置きます。

概要	
定員	40名
専願／併願	専願制（ただし、本学の総合型選抜(アドミッション・オフィス方式)との併願は可)
実施時期	10月末。合格発表は11月前半。
出願書類	(1) 志願票・写真票 (2) エントリーシート(※1) (3) 高等学校調査書 (4) プレゼンテーション資料(※2) (5) プレゼンテーション資料の出力紙
審査内容	1次審査（書類審査） (1) 高校調査書 (2) エントリーシート (3) プレゼンテーション資料(出力紙) 2次審査（プレゼンテーションと質疑応答） (1) 出願時に提出したプレゼンテーション資料を使用したプレゼンテーション(※3) 10分 (2) (1)についての質疑応答 15分

受験に際しては、必ず2024年度に公表する2025(令和7)年度学生募集要項を確認してください。

※1 エントリーシート詳細

- ・内容
  - ①志望動機 ②どのような場・方法で「探究」したか。
  - ③今回の「探究」の経験を、大学入学後にどのようにいかしていきたいか。
- ・所定用紙に PC で入力。手書きも可。

※2 プレゼンテーション資料詳細

- ・Microsoft 社の PowerPoint で作成すること。
- ・PowerPoint ファイルサイズは 20MB まで。動画、アニメーション使用可。音声不可。
- ・PowerPoint のノート機能は使用不可。
- ・PowerPoint のリンクからのインターネット接続は不可。
- ・発表内容で引用等がある場合には、引用先（出典）を必ず明記すること。

※3 プレゼンテーション詳細

- ・ディスプレイに、提出されたデータ(スライドショー)を投影し、受験生自身がPCを操作しながらプレゼンテーションを行う。
- ・使用するPCは大学で用意。PCはインターネットに接続されていない。
- ・ノートやメモなどの持ち込み不可。PowerPointのノート機能も使用不可とする。

- 探究のテーマについては[こちら](#)
- 第2次審査の評価ポイントは[こちら](#)
- Q&Aは[こちら](#)



## 探究のテーマについて

「探究」の場としては、高校の「総合的な探究の時間」、課外活動や学外での「探究」活動などが考えられます。これらはグループで行われる場合が多いと思いますが、出願の際にそのことを明記してください。もちろん、個人で行った「探究」でも出願できます。

プレゼンテーションのテーマに制限はありません。聖心女子大学が開学時から大切にしてきた「リベラル・アーツ」は1つの専門分野だけでなく、様々な分野の知識を横断的に学ぶことで、多角的な視点を身につけることを重視しています。

例えば、4年生が提出した卒業論文には、下記のように多様なテーマがありました。

英語文化コミュニケーション学科	CONTEMPORARY PROPAGANDA: THE WAR BETWEEN RUSSIA AND UKRAINE
	GENDER ISSUES AND DISNEY PRINCESS MOVIES
日本語日本文学科	漫画『鬼滅の刃』の効果音の日本語と英語の比較
	「推し」への好きという気持ちを表現する語の分析
哲学科	日本で「安楽死」は認められるべきか
	宮崎駿の自然観とアニミズム—ジブリ作品から見る自然と人間の関わり方—
史学科	ヒロシマ・ナガサキの原爆報道から見る各国の核兵器の捉え方 —一九八五年と二〇一六年オバマ大統領の訪問後の報道比較—
	伝説の女による伝説のブランド—ガブリエル・シャネルのファッション観について—
人間関係学科	学歴とジェンダー—頭のいい女子は“かわいくない”のか—
	町工場における技術継承—新潟県燕三条の金属加工産業を例に—
国際交流学科	外国人の子どもへの教育についての権利—日本における不就学問題—
	日韓ドラマにおける女性像の違い —男女差別とメディア表象のギャップ—
心理学科	他者の感情状態の推測にBGMが与える影響
	SNS依存と承認欲求の関係について
教育学科	NHK『おかあさんといっしょ』『今月の歌』に見る家庭観・教育観の変遷
	開発途上国における女子教育の現状と課題

このように、ご自分の好きなこと、興味のあることは何でもテーマになり得ます。

この入試では、そのテーマをいかに学問的な方法で「探究」したかを審査し、評価します。

また、課題を解決するために利用する資料についても、書籍やWeb上の情報だけでなく、SNSを用いた調査も活用できます。ただし、そのルールには充分注意してください。



## 第2次審査の評価のポイント

- ・「探究」の課題は、どのような意図で設定されたのか。
- ・課題を解決するために用いられた方法や資料の選択は適切か。
- ・課題解決のために集められた資料の分析は適切か。
- ・結論を論理的に導き出し、それを効果的に伝えているか。
- ・今回の「探究」の成果を大学での学修にどのように活かしていこうと考えるか。

これらの点について、とくに2次審査の質疑応答では、本学アドミッション・ポリシーにあるように、「自分の言葉」で説明できるかどうかを重視して評価します。

## Q & A

Q	プレゼンテーションする内容は高校の「総合的探究の時間」に活動した内容に限定されるでしょうか。自主的に行った課外活動を使用することはできますか。
A	「総合的な探究の時間」の授業で作成したものだけではなく、以下も対象としています。 ・課外活動・学外活動で行った探究活動 ・個人でおこなった探究活動（自由研究など） したがって、「総合的な探究の時間」の教科を履修していない方（学習指導要領の旧課程履修者、高等学校卒業程度認定試験合格者など）も受験可能です。
Q	プレゼンテーション資料のページ数の下限や上限はあるでしょうか。
A	ファイルサイズの上限内（20MB）であれば、資料のページ数に制限はありません。指定時間内でプレゼンテーションできる分量を受験者ご自身で判断してください。
Q	自分のPCを使用したいのですが、試験当日持参できますか。
A	ネットワークセキュリティの関係から、大学で用意したPCを使用していただきます。
Q	質疑応答はプレゼンテーションの内容に限定されるのでしょうか。志望動機などについても聞かれますか。
A	基本的には、質疑応答はプレゼンテーションの内容に限定します。
Q	第1次審査は提出書類で行うとありますが、調査書の成績も見ているのでしょうか。評定平均がいくつ以上などの条件があるのでしょうか。
A	評定平均による合否の基準はありません。第1次審査では、提出書類すべてに目を通し、総合的に審査します。
Q	第1次審査で不合格になることはあるのでしょうか。
A	あります。
Q	アドミッション・オフィス方式も10月末の実施ですが、試験は同じ日におこなわれますか。
A	探究プレゼンテーション方式を10月末の土曜日、アドミッション・オフィス方式を日曜日に実施します。

問い合わせ先： 聖心女子大学 アドミッションズオフィス  
Tel 03-3407-5076（直通）  
E-mail [goukaku@u-sacred-heart.ac.jp](mailto:goukaku@u-sacred-heart.ac.jp)